



# 福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30  
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011  
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

## 本日のプログラム 新会員スピーチ

(株)ダイヤモンド・スター・コーポレーション 佐藤美奈子 会員

### 会長あいさつ

#### 第 21 回会長挨拶 古俣 猛 会長



今月は、平和と紛争予防／紛争解決月間となっております。今でも毎年 20,000 人が地雷によって手足や命を奪われています。今現在、紛争や迫害によって 5,100 万人が難民生活を強いられています。紛争で命を落とした犠牲者の 90% が一般市民で、そのうち少なくとも半数が子供達です。さらには世界で 18 歳未満の子供達 30 万人が少年兵として紛争に巻き込まれているといわれています。

紛争の要因としては、貧困、不平等、民族間の緊張、教育の欠如など多くの要因が考えられます。我々福島ロータリークラブとしては、直接的な支援や紛争仲裁という活動はとうてい叶いません。ロータリー財団や、米山記念奨学会への寄付行為によって、必ずや貢献できるものと信じております。

今現在、平和になったこの日本でも、先の大戦の負の遺産により、近隣諸国から謝罪や賠償など、戦後 70 年以上経った今でも、くすぶり続けています。まさに戦争や紛争の愚かさを出していると思います。

さて次回例会は 2 月 12 日(月)の県北第一分区インターシティ・ミーティングに振替となっております。IM については、先の例会でもお話をさせていただきましたが、県北第一分区の会員相互の親睦と知識を広めることが目的であります。テーマとして「RI 第 2530 地区を考える」というもので、当クラブの担当サブテーマは「地区とクラブの関係」となっております。

少し抽象的なテーマではありますが、それがゆえに、大いに盛り上がったいろいろな意見交換がなされるものと期待しております。

参加される皆様宜しくお祈いします。

### 例会次第

- 開会点鐘 古俣 猛 会長
- ロータリーソング  
「奉仕の理想」  
ソングリーダー 安藤健次郎 会員
- 「四つのテスト」唱和 勝見浩二 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 2 月誕生祝い
- 会長あいさつ 古俣 猛 会長
- 食事
- 幹事報告 菅野裕一 幹事
- 各委員会報告
  - 広報マルチメディア雑誌小委員会  
「友」1 月号紹介 今井理基夫 委員
  - プログラム・ニコニコBOX 小委員会  
ニコニコBOX 担当 氏川守義 小委員長
- ◎本日のプログラム
- 開会点鐘 古俣 猛 会長



### 例会プログラムのご案内

- 2 月 9 日(木) 祝日の週のため休会
- 2 月 12 日(日) ザ・セレクトン福島  
県北第一分区インターシティ・ミーティング 受付 13:00 ~  
テーマ「クラブから地区へ提案しよう」  
第一部 13:30 ~ 第二部 15:00 ~ 懇親会 17:30 ~
- 2 月 23 日(木) 12:30 ~ 辰巳屋  
新会員スピーチ  
農林中央金庫福島支店 支店長 船本 勝 会員
- 3 月 2 日(木) 18:30 ~ 辰巳屋  
2 月理事会

### 幹事報告

- #### 例会変更のお知らせ
- 当クラブ次週 9 日(木)の例会は、祝日の週のため休会、16 日(木)は、12 日(日)に開催されます「県北第一分区インターシティ・ミーティング」に振り替えております。
- #### その他のお知らせ
- 本日午後 6 時 30 分より辰巳屋にて 2 月理事会を開催致します。役員・理事の皆様宜しくお祈い致します
  - 2 月ロータリーは 1 ドル 116 円と変わりありません。
  - 本日ボックスの方に、確定申告提示書類を差し上げております。ご確認の上ご対応宜しくお祈い致します。



## 新会員スピーチ

㈱ダイヤモンド・スター・コーポレーション  
佐藤美奈子 会員

㈱ダイヤモンド・スター・コーポレーションの佐藤美奈子です。本日は皆様の貴重なお時間を頂戴し、スピーチをさせて頂く機会を頂き誠にありがとうございます。私は、昨年7月末に福島ロータリークラブに入会させて頂きました。本日は会社についてと私の自己紹介をさせて頂きたいと思います。

はじめに会社についてですが、もともとは東京に拠点を置き不動産業、コンサルタント、保険の代理店業務などを行っておりました。3年程前に福島市に拠点を移し、現在は不動産、コンサルタント並びに通訳・翻訳業等を行っております。会社業務とは別に私自身は、福島市内の小学校で英語を教えて5年になります。残念ながら福島の子どもの中には福島から外に出たことがない子どもが多く、彼らには是非外の世界を見て福島の良さ、日本の良さ、世界の国々の素晴らしさを感じてもらいたいという思い、そして英語を好きになってほしいという気持ちで自分の許される時間内で英語を教えております。

また震災以降は、在日外国人の社交クラブ「アメリカンクラブ」(会員数1000名超)と在日米国商工会議所の会員より、震災直後に福島市に1千万円超の基金を頂き、野田小学校、岳陽中学校等に楽器をプレゼントする橋渡しをさせて頂いた関係で、毎年市内小中学校で開催される音楽のワークショップ、英語のワークショップ、並びに婦人会の観光ツアーの受け入れ事務局としてのお手伝いもボランティアでさせて頂いております。今もこの交流は続いており、先日もクラブのメンバーが来福し、佐倉小学校・吉井田学習センターで音楽のワークショップを開催致しました。今回は受け入れた小学校で地域の方々の協力を頂き、餅つき大会を開催し、福島らしい素晴らしいおもてなしが行われました。

来福したメンバーの中には、グラミー賞受賞歌手の方もおりましたが、彼らは震災以降福島に3回も来て音楽のワークショップに参加頂いております。また同様に音楽のワークショップに出演頂いたオペラ歌手のジョン・健・ヌツォさんは、一番初めにワークショップに参加した時に音楽堂で中学校の合唱祭に参加したのですが、その時に音楽堂が気に入って3年続けてソロコンサートを行っております。今年も6月にいらっしゃるのでぜひドミンゴと共演したジョンの歌を聴いて頂ければと思います。こうして、毎年福島に来てくれる方たちが増えてくれることは大変嬉しいことです。

ここで、私の自己紹介をさせて頂きたいと思います。私は、昭和42年2月11日東京に生まれました。父の転勤で

アフリカ、ケニアに3年半、スイス、ジュネーブに4年半、結婚してからオランダに1年半、マレーシア、ペナン島に3年と通算で12年ほど海外に住んでおりました。

1歳で父の転勤でアフリカ、ケニアに行き、4歳半まで過ごしました。家では日本語、使用人の人とはスワヒリ語、幼稚園では英語を話していたそうです。ケニアというとジャングルでライオンやシマウマなどの動物の国を想像されるかもしれませんが、気候は、日本の軽井沢や上高地のようなところで朝夕は涼しく、カーディガンやセーターを羽織っていました。ナイロビは一日の中に四季があるといわれており、日中はくらくらするほど日差しが強いのですが、建物の中に入ると涼しく、さらに夜になるとずっと冷え込みます。母などは、東京から来たお客様がその涼しさに驚き、「奥さん意外と白いですね」と言って、逆に、「真っ黒な顔をしてやりでも持ってお迎えになると思っていましたか」などと笑いながら言ったそうです。

当時のケニアはとても衛生的で、きれいだったそうです。ですから今でも「アフリカは良かった。もう一度行きたい」と言っています。治安が悪くなり今では旅行出来なくなっているのが残念です。庭には野兎やハリネズミがでて、珍しい鳥も来ていました。私のために捕まえて飼ったりしたのですが、やはり自然に生きているものが、小さいケージの中に入ると元気がなくなってしまい、次第に捕まえないで共存することを選んだそうです。

小学校は日本で過ごしましたが、転勤があたりまえで、小学校も3校通いました。今こうしてどこの地でもすぐに環境に慣れお友達ができるのは転勤が多かったからだと思います。中学2年から高校卒業までは、スイスジュネーブで過ごしました。はじめは両親と、次に1か月半お隣に住んでいたアメリカ人の親友の家にホームステイし最後は学校で寮生活をしました。

スイスには、国際機関が多いこと、中東地域に赴任している外国企業の方や外交官家族のため、そしてまたお金持ちの子供たちが安心して勉強できるようにと、寄宿舎付きの学校がいくつかあります。私はその学校で楽しい中学、高校生活を過ごしました。当時、ハイジが流行っていたこともあり、スイスは私にとってあこがれの夢の国で、小学生のころから20歳になったら幼なじみと旅行したい国でもありました。

外国に行けば、英語は自然と話せるようになる、金髪のお友達ができるとスイス駐在を楽しみにしていました。家も広く、庭にはうさぎやリス、レマン湖畔に家が建っていたので、夏はレマン湖でお友達と泳いだり、バーベキューをしたりしました。また、鶏も家についていて、毎日鶏の生みたての卵を頂きながら餌をやったり、庭にあるさくらんぼやりんご、洋ナシなどケーキをつくろう、ちょっと食べたいなと思うと庭にでて喜んで取りに行ったことを思い出します。大自然の中に暮らしのんびりした生活をして、学校帰りに森に入ってラズベリーを食べたりと楽しく

過ごしました。しかし、勉強は大変で、毎日莫大な量の宿題と格闘していました。私の原点はここにあり、今は、福島一色で、外国のお客様を迎えると自分の中にある外国人の振る舞いが自然と出て、やっぱり、外国が好きだ、外国の人といると自然になれる自分がいると心から思います。

寄宿舎付きの学校だったので、お金持ちの子供が多く、中学生で、ロレックスやヴィトンのバッグ片手に教科書やらノートをもって学校に来ているお友達が勢いました。ブラックのカードを持っている友達もいて、当時はよくわかりませんが、相当なお金持ちでした。一度ロンドンに別荘のあるお友達の家日本に帰国する前に行ったことがあります、マンションの入り口に2人の門番が立っており、中に入るとトイレもお風呂も金びかで驚いたことがあります。彼女は、イエメンの石油王の娘さんでしたが、普段はいたって普通でしたので、やはり、世界のお金持ちは違うんだと子ども心に思いました。

ただ、皆将来の夢をしっかりと持ってその目標のために勉強し、クラブ活動に励み日本の高校生とは比べ物にならないほど大人で感心させられたことを思い出します。ですから、日本の学校で寝ている生徒がいるのを大勢見て驚きました。寮は、4人部屋でベッドと筆筒が一つ、消灯を過ぎると寮長が巡回するので、トイレや廊下で小さい明りをともしながら、みんなで勉強したりしました。寮生活では食事を10人ひとテーブルで行いますが、お肉やサラダ、お魚など遠慮しているとあっという間に目の前からなくなってしまう。

ここでの生活がのちに私をしっかりとYESとNOの言える自分に変えたのではないかと今でも思っています。お陰様で寮生活した6ヶ月の間に、太ってたくましくなりました。今振り返っても学生生活は、すべてが新鮮で、楽しかったのを思い出します。ですから、私は福島で育った子ども達に将来外国に行くことを薦めて、「英語が下手でも大丈夫。みんなきいてくれるのだから」と伝えながら英語を教えています。中高時代に人種差別も学校生活の中で見てきました。ですから、今アメリカは平等と言っていますが、あれは真実ではなく、歴史や宗教の中で変えられないものもあると自然に学びました。

こうしたことは誰かが教えることではなく、感じるものなのです。日本で教室のお友達の絵を描かせるとみな黒い髪、黒い目のお友達を描きますが、外国では、黒い肌の人、白い肌の人、黄色い肌の人、赤い髪、金髪の人、青い目の人、青い目の人、黒い目の人、黒い目の人もいると色々なお友達を描きます。そうした日常のちょっとした違いも外国生活の中で学びました。

高校を卒業し、日本に帰国した私は青山学院大学で国際政治経済学を学びました。卒業した平成元年はバブル期の時代に入っており、国際化と男女雇用均等法が騒がれた時代で、私は迷わず国際的で女性も男性と同じように活躍できるJETRO日本貿易振興会に入りました。当時は輸出振興の時代で、途上国の展示会を東京で開催したり、途上国や先進国から日本にお見えになるお客様のアテンドをしな

がら、日本各地の企業に案内したり、在日の大使館の方々と親交を深めながら、ODA予算をどのように使ったらいのかなど、模索する部署にありました。海外にも出張に行ったりと8年くらい楽しく働かせていただきました。

その後主人の海外赴任に付き添ってオランダに駐在。子供もいなかったため、ライデン大学で聴講生として勉強させてもらいました。オランダは移民受け入れの最先端の国で年間2万円程度の料金を、オランダ語を教えてくれるコミュニティセンターもあり、毎日午前中そこで勉強しながら、お友達を作っていました。主人も大学院の学生だったので世界中の国から集まっている学生と友達になり、楽しい学生生活を送りました。その中の何人かはここ福島にも遊びに来てくれました。

その後出産を経て今度は子ども達を連れて初めての海外赴任。場所はマレーシアペナン島。何もないところですが、とにかく人が温かく、豊かな国でした。プールで泳ぐのが恒例の誕生日パーティーやバーベキュー、サンセットを見ながらお茶をし、子どもはビーチで遊ぶ。アイロンがけやお掃除に来るインド人のパートさんが週に1度4回来て、6,000円程でなんでもやってくれ、お買い物も出かかれられないときは朝10時までに、魚と肉と野菜を買って持ってきてねと電話すると宅配してくれる中国人のおじさんがいたり、発展途上国なのに先進国だ、日本より住みやすい、ODA予算とは何なのかと改めて考えさせられました。

物価も安く、10円でアイスが買え、100円出すとラーメンなどが食べられましたので、よく子どもを学校に送ってから朝7時半ごろ同じ学校のお友達のお母さん達と待ち合わせて、朝カフェ兼ご飯を食べて過ごしたこともよくありました。現地の中流家庭の人はたいがい住み込みのお手伝いさんを雇っており、13歳くらいの子どもの赤ちゃんの面倒を見たり、アイロンやお掃除をしていました。もちろんお母さんたちは家事はほとんどせず、子どもの教育に力を注いでおりました。私の子ども達は、驚いていましたが、同時にその状況を見ながら自分の置かれた環境に感謝していました。

当時のマレーシアはまだまだインフラが整備されておらず、水道の水も浄水器でちょろちょろしたお水を使って洗い物をしていましたし、洗濯物も白いTシャツはいつの間にか茶色っぽくなってしまいうので、みな色付きのTシャツを着ていました。人間というのはその時は大変と思うのですが、いつしか大変さを忘れてしまいます。マレーシアは大好きな国の一つで、帰国してからお友達に会いに2回程行きましたが、今その時間が取れないのがすごく残念です。

でも、必ずまたいつかと思っています。世界を旅するのも好きで、今までに訪れた国は35か国くらいあります。やはり外国に行くと、日本の文化や自然の素晴らしさ、清潔さと安全性に感心します。マレーシアやオランダは極力外でトイレに行かないようにと思いましたが、お水は水道から飲まないのが鉄則となっていました。世界を知って、

日本を知り、福島の良さを知る。

今、国や県は、インバウンドを増やそうと力を入れています。私は、日本に駐在している外国人の方に「何度も訪れたい街福島」にしたいと心から願っています。事実、彼らは福島を何度も訪れ、何万円というお金を落としてくれています。コラッセで一人7万近く買いものをしたり、昼食に立ち寄った絹の里で25万円の着物を即買いたおお客様や、お酒を沢山買う為にわざわざ千葉から車で来てくれた人達など沢山見てきました。こうした人達が増える福島になるよう小さなおもてなしの活動をしていきたいと思ひます。とりとめのないお話をしましたが最後まで聞いていただきありがとうございます。今後ともロータリーでの活動を楽しみにしておりますのでご指導頂きます様お願い申し上げます。

## 2月誕生祝い ~おめでとうございます~



### 箱岩 偉 会員

昭和44年2月2日

### 田沼紀美子 会員

昭和30年2月5日

### 金子與志雄 会員

昭和6年2月10日

### 佐藤美奈子 会員

昭和42年2月11日

### 幡 研一 会員

昭和19年2月17日

### 本保 晃 会員

昭和35年2月17日

### 菅野孝志 会員

昭和27年2月24日

### 児玉健夫 会員

昭和18年2月24日

### 吉田大樹 会員

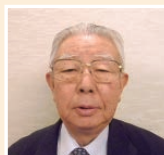
昭和50年2月24日

### 渡辺健寿 会員

昭和22年2月25日

## 私のひとこと

河田 亨 会員



『今年(2016)の漢字』は3回目の「金」

毎年12月12日は『漢字の日』です。語呂合わせで『イージ(いい字)』。公益財団法人日本漢字能力検定協会が1995年(平成7年)に制定、国民投票で第1位の漢字を『今年の漢字』として発表、京都・清水寺で森清範貫主が特大の白紙に揮毫(きごう)する国民的行事になったのです。

今年は22回目。初回は阪神大震災やオウム真理教のサリン事件が起きた年。従って「震えた悪夢」が「震」の字でよみがえって来ます。長年『ニュースの気まま研究』をライフワークとして流行語や今年の漢字に興味を抱いてきた私は、今年も発表をかたずをのんで待ちました。率直な感想はガッカリでした。『なんだ、また「金」か。3回目じゃないか。日本人のアタマは「単細胞」なのか…』

ブラジル・リオ五輪の金メダル12個は確かに立派でした。健闘を喜びます。また前東京都知事のカネ問題も「金」にかかわりました。だが、五輪は4年に1度の恒例行事です。東京開催も間近です。シドニー(2000年)、ロンドン(2012年)の「金」は確かに意義がありました。しかし五輪のたびに「金」では感動も半減です。もうちょっと冷静に、頭をヒネって考える日本人がふえて欲しかったと思ったのです。

今回の投票総数は15万3,562票で、前年よりも2万3千余票ふえました。反面、第1位の「金」の獲得率は4.33%で、前年のトップ「安」の獲得率4.34%を下回りました。これまでの獲得率トップは「絆」(2011年)の12.5%でした。投票行動、価値観の多様化は当然の成り行きです。最近のバラバラ現象もわかります。しかし、『世相を一字で現す漢字』を選ぼうというならば、オープン投票には限界がありそうです。時局はもちろん、環境、天変地異、動植物の動向などを注視、見識ある一字を選ばねばなりません。投票の在り方をめぐってひとつの転機を迎えたような気がします。(2016.12.14記)

## ニコニコBOX報告 (報告)氏川守義 小委員長

本日のニコニコBOX投入額 37件 ¥75,000 累計 ¥1,495,000

### 古俣 猛 会長

明日は節分、明後日は立春です。毎日雪が降ったりで春が待ち遠しいですね!コンビニの戦略にのせられて明日は恵方巻を食べたいと思います。本日も宜しく願ひします。

### 丹治正博 会員

先日27日に、二女夫婦に男の赤ちゃんが誕生し、幡先生に取り上げて頂きました。私にとっては二人目の孫で、実に丹治家62年ぶりの男の子の誕生です。

### 小原 敏 会員

大震災で世界から支援いただいた恩返しに、今月中旬に三人目のセネガルからの留学生を受け入れます。今後共々支援宜しくお願いします。

### 山内 功 会員

今年もハートのプロジェクトを実施します。2月6日から市内23ヶ所でハートの点灯、3月4日に街中広場でのキャンドルナイトと、隣のツイン広場でマルシェを開催致しますのでみな

さんお楽しみ下さい。

### 幡 研一 会員

誕生祝いありがとうございます。佐藤美奈子会員のスピーチ楽しみです。

### 箱岩 偉 会員

2月誕生の皆様おめでとうございます。ご健勝で幸多き一年になりますように、相良会員のチャレンジの成功をご祈念申し上げます。

他クラブ会員より/佐藤 徹/反後太郎/林 隆壽/白岩康夫/勝見浩二/佐藤英典/八巻恵一/辺見哲郎/氏川守義/相良元章/田沼紀美子/安藤健次郎/信国一郎/五阿弥宏安/岡田新也/児玉健夫/高倉裕行/森 洋一/今井理基夫/佐藤美奈子/熊坂仁美/靄丸直久/小林仁一/八子英器/三木エリカ/土屋敦雄/江刺家宏樹/久保田吉朗/菅野晴隆/浦部 博/本保 晃